

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 株式会社 極洋

上場取引所 東

コード番号 1301 URL <http://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福井 清計

問合せ先責任者 (役職名) 企画部長

(氏名) 上島 幹雄

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	113,002	△2.2	1,918	△34.9	2,267	△23.8	994	△38.5
21年3月期第3四半期	115,495	—	2,945	—	2,974	—	1,617	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	9.40	—
21年3月期第3四半期	15.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	73,465	18,308	24.3	168.96
21年3月期	61,184	17,842	28.7	165.72

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 17,877百万円 21年3月期 17,535百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	5.00	5.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	1.7	2,700	△9.4	3,000	4.4	1,500	△5.5	14.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 109,282,837株 | 21年3月期 | 109,282,837株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 3,472,535株 | 21年3月期 | 3,471,546株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 105,811,235株 | 21年3月期第3四半期 | 106,090,393株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる仮定等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の低迷が長期化し、先行きに対する見通しも雇用の調整やデフレ進行など依然として不透明な状況が続いております。

水産・食品業界においても、消費者の生活防衛意識による節約志向、低価格志向がますます高まり、個人消費が低迷するなど厳しい展開となりました。

このような状況のもとで、当社グループは安心・安全な食品を提供することを責務とし、更にグローバル戦略と加工戦略の推進による事業基盤の強化と収益の確保を重視し、積極的かつ効率的な運営に努めました。

水産商事事業セグメントでは、年末商戦において価格低下により消費が喚起されたえび、かになどを中心に販売を伸ばすことができ、全体の扱い数量は前年同期を上回りました。しかしながら全般的な市況下落の影響を受け、当第3四半期連結累計期間の売上、利益はともに前年同期を下回りました。

加工食品事業セグメントにおける水産冷凍食品は国内向けには寿司種商材、加熱用商品を、欧米向けにはタイのKUE社で生産した寿司関連商材の拡販に努め順調に推移しました。調理冷凍食品では原料事情の影響から取り扱いが減少した畜肉加工品の販売回復の遅れ、高単価製品の販売低迷が続いたことにより伸び悩みました。常温食品は販売価格は下落しましたが、魚介缶詰を中心に拡販に注力するとともに、前期連結子会社化した(株)ジョッキも既存取引先の深耕と販売ルート拡大に努め収益を確保しました。同セグメント全体の当第3四半期連結累計期間の売上は前年同期を上回りましたが、利益は下回りました。

物流サービス事業セグメントでは、冷蔵倉庫事業は営業力強化と事業の効率化に努め順調に運営できましたが、冷蔵運搬船事業は国際的な市況低迷と為替の影響を大きく受けたことにより、同セグメント全体の当第3四半期連結累計期間の売上、利益はともに前年同期を下回りました。

鯉・鮪事業セグメントにおけるかつお・まぐろ製造加工及び販売は、海外買付ルートの拡充と生産体制の効率化、外食ルートなどへの積極的な拡販に注力し、売上、利益に貢献しました。海外まき網事業は、昨年10月1日に竣工した最新鋭船「第七わかば丸」を含め中西部太平洋において順調な操業を続けておりますが、かつお魚価下落の影響などにより売上、利益とも前年同期を下回りました。本まぐろの養殖事業は昨年10月より本格出荷が始まりました。生まぐろの市況が軟化している中であって品質が評価され順調に出荷、販売ができておりますが、売上は当初予想を下回っております。同セグメント全体の当第3四半期連結累計期間の売上は前年同期を上回りましたが、利益は下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,130億2百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は19億18百万円（前年同期比34.9%減）、経常利益は22億67百万円（前年同期比23.8%減）、四半期純利益は9億94百万円（前年同期比38.5%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ122億80百万円増加し734億65百万円となりました。

流動資産は受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ103億63百万円増加し、541億15百万円となりました。固定資産は新船建造に係る有形固定資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ19億17百万円増加し、193億49百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金、長期借入金、短期借入金などが増加したことにより、前連結会計年度末に比べ118億14百万円増加し、551億56百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加により株主資本合計が前連結会計年度末に比べ4億65百万円増加、評価・換算差額等合計が1億23百万円減少、少数株主持分が前連結会計年度末に比べ1億24百万円増加した影響などにより、純資産合計は前連結会計年度末に比べ4億66百万円増加し、183億8百万円となりました。

この結果、自己資本比率は24.3%（前連結会計年度末比4.3ポイント減）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関しましては、平成21年10月30日公表の業績予想から修正を行っておりません。

今後何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当する事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①四半期特有の会計処理

該当する事項はありません。

②簡便な会計処理

・たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却費の算定に関しては、年間償却予定額を期間按分する方法により、期首からの累計期間の減価償却費として計上しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当する事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,595	3,786
受取手形及び売掛金	24,823	16,880
商品及び製品	19,827	18,617
仕掛品	737	399
原材料及び貯蔵品	2,214	2,322
その他	2,989	1,786
貸倒引当金	△71	△40
流動資産合計	54,115	43,752
固定資産		
有形固定資産	11,669	10,231
無形固定資産		
のれん	136	148
その他	490	535
無形固定資産合計	626	683
投資その他の資産		
投資有価証券	4,032	3,850
その他	3,046	2,692
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	7,053	6,517
固定資産合計	19,349	17,432
資産合計	73,465	61,184

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,983	6,315
短期借入金	34,093	25,266
未払法人税等	416	882
引当金	299	674
その他	5,359	4,454
流動負債合計	48,152	37,594
固定負債		
長期借入金	2,835	2,085
退職給付引当金	3,277	2,609
その他の引当金	66	65
その他	824	985
固定負債合計	7,004	5,747
負債合計	55,156	43,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	749	749
利益剰余金	12,503	12,037
自己株式	△612	△611
株主資本合計	18,305	17,839
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△406	△244
繰延ヘッジ損益	13	8
為替換算調整勘定	△34	△69
評価・換算差額等合計	△427	△304
少数株主持分	431	307
純資産合計	18,308	17,842
負債純資産合計	73,465	61,184

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	115,495	113,002
売上原価	101,393	99,224
売上総利益	14,101	13,777
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	2,680	2,736
賞与引当金繰入額	236	225
退職給付費用	802	1,000
役員退職慰労引当金繰入額	—	1
貸倒引当金繰入額	4	12
その他	7,432	7,883
販売費及び一般管理費合計	11,156	11,859
営業利益	2,945	1,918
営業外収益		
受取利息	28	45
受取配当金	80	293
為替差益	209	180
その他	105	122
営業外収益合計	424	642
営業外費用		
支払利息	375	277
その他	19	15
営業外費用合計	394	293
経常利益	2,974	2,267
特別利益		
固定資産処分益	0	5
投資有価証券売却益	—	1
受取保険金	18	—
その他	0	0
特別利益合計	18	7
特別損失		
固定資産処分損	3	70
投資有価証券売却損	—	287
投資有価証券評価損	44	3
その他	0	20
特別損失合計	48	380
税金等調整前四半期純利益	2,944	1,894
法人税、住民税及び事業税	1,393	878
法人税等調整額	△61	△93
法人税等合計	1,332	784
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4	115
四半期純利益	1,617	994

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,944	1,894
減価償却費	991	1,215
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	30
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	430	668
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△343	△375
受取利息及び受取配当金	△109	△106
支払利息	375	277
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,913	△7,935
その他債権の増減額 (△は増加)	△73	△89
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,409	△1,416
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,033	1,693
その他	841	743
小計	△4,236	△3,400
利息及び配当金の受取額	103	92
利息の支払額	△397	△278
法人税等の支払額	△1,741	△1,336
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,271	△4,922
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,420	△2,382
固定資産の売却による収入	0	5
投資有価証券の取得による支出	△9	△901
投資有価証券の売却による収入	—	390
貸付けによる支出	—	△1,132
子会社株式の取得による支出	△308	—
その他	△43	39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,782	△3,980
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,971	8,632
長期借入れによる収入	747	1,205
長期借入金の返済による支出	△365	△325
配当金の支払額	△531	△529
その他	△462	△249
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,359	8,733
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	320	△160
現金及び現金同等物の期首残高	2,836	3,707
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,157	3,546

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）
 該当する事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）（単位：百万円）

	水産商事	加工食品	物流 サービス	鯉・鮪	その他	計	消去又は 全社	連結
I 売上高及び営業損益 売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	54,615	41,534	4,881	14,417	47	115,495	—	115,495
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,764	1,458	487	545	492	13,748	(13,748)	—
計	65,379	42,993	5,368	14,963	539	129,244	(13,748)	115,495
営業利益	1,239	851	409	773	85	3,359	(414)	2,945

(注) 1. 事業区分の方法

事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分の事業内容及び主要製品

事業区分	事業の内容	主要製品
(1) 水産商事	水産物の買付、販売	冷凍魚介類
(2) 加工食品	冷凍食品の製造、買付販売及び缶詰等の加工食品の販売	冷凍食品、缶詰
(3) 物流サービス	冷蔵倉庫業及び海上運送業	
(4) 鯉・鮪	鯉・鮪の漁獲、養殖、製造加工、販売	冷凍かつお、まぐろ
(5) その他	保険代理店業等	

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）（単位：百万円）

	水産商事	加工食品	物流 サービス	鯉・鮪	その他	計	消去又は 全社	連結
I 売上高及び営業損益 売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	50,607	43,188	3,947	15,215	44	113,002	—	113,002
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,371	1,265	512	443	522	14,114	(14,114)	—
計	61,978	44,453	4,459	15,659	566	127,117	(14,114)	113,002
営業利益	966	780	15	485	75	2,323	(404)	1,918

(注) 1. 事業区分の方法

事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分の事業内容及び主要製品

事業区分	事業の内容	主要製品
(1) 水産商事	水産物の買付、販売	冷凍魚介類
(2) 加工食品	冷凍食品の製造、買付販売及び缶詰等の加工食品の販売	冷凍食品、缶詰
(3) 物流サービス	冷蔵倉庫業及び海上運送業	
(4) 鯉・鮪	鯉・鮪の漁獲、養殖、製造加工、販売	冷凍かつお、まぐろ
(5) その他	保険代理店業等	

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）

該当する事項はありません。